

【地域活性化総合特区】千年の草原の継承と創造的活用総合特区

[阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村、山都町]

【目標】

世界的遺産であり、地域にとって誇りである「阿蘇草原」を守り次世代に伝えていくとともに、草原の新たな活用を進め、草原とつながる観光スタイルの創造と資金還流のしくみづくりによる地域の活性化を目指す。ひいては、観光立国の推進に貢献する。

【取組概要】

- ①千年以上続けられてきた草原の維持保全のために、「阿蘇草原再生全体構想」に基づく様々な主体による草原再生の取組みと、早急な対応が必要とされる「草原の担い手不足」の課題への対応
- ②「阿蘇の草原」の魅力と価値を次世代に伝えていくとともに、草原の新たな活用と地域の活性化等を目指した事業展開を図り、草原を活用した観光の促進とその利益を草原再生に還元する仕組みづくり等、恒久的に草原再生に取り組んでいくための財源の確保
- ③畜産業や観光業といった地域の生業を支える草原の価値に加えて、多様な関わりによる草原維持体制を一層強化するため、新たな視点となるSDGs、地域循環共生圏、文化的景観等のコンセプトから草原の意義を再定義する

草原(自然環境)の維持・活用



毎年春に実施する野焼き



野焼きボランティアの協力

観光消費や食料生産基盤の確保



阿蘇の草原で育まれる“あか牛”



草原を案内するガイド育成